

地域包括ケアシステム構築に向けた 令和8年度の主な取組について

CONTENTS

1

普及啓発の
取組

2

地域との
きっかけづくり

3

地域づくり

4

新しい認知症観に
基づく取組

5

障害に関する理解
と関心の醸成

6

子ども・子育て
関連事業

7

市地域見守りネッ
トワーク事業





1. 普及啓発の取組

【制作する理由】

 世代問わずより多くの区民に地域包括ケアシステムを理解してもらうため

- 区民にとってイメージしづらい概念
- マスコット化により「見てわかる」シンボルとなり親しみが生まれる

>>>『難しい“制度”』から『身近な“活動”』へのイメージ転換を図る

 統一したシンボルによる情報発信効果の向上

- 今後制作の広報物や開催のイベントで統一的に使用 ⇒ 住民の記憶に残りやすくなり広報効果が向上

>>>『“多摩区の地ケア“＝”このキャラクター”』というブランドイメージの確立

【マスコットキャラクター制作にあたっての基本事項】



モチーフとなる生き物の生態に着目

- 自助や互助に関連して、生態やイメージが『社会性がある』『助け合っている』などを連想させるもの
- 案①セキセイインコ…高い社会性、声をかけ合う習性、多摩区シンボルマークとの関連
- 案②ミーアキャット…高い社会性、複数の家族で群れを形成、見守りの習性
- 案③妖精…あえて特定の生き物をベースとしない、区の花をベースとする



地ケアらしさ＞多摩区らしさ

- 地ケアのキャラクターであることに重きを置き、多摩区らしさはエッセンスとして加える



2体1組(ペア)で制作

- 性格や役割を分けた2体とすることでコンセプトやストーリーに幅を持たせる

(案1：セキセイインコ設定・背景)

【設定】

- 多摩区に住む人同士が“声をかけ合い、気かけ合う”ようすをみていたので、声で呼び合ってコミュニケーションをとる“セキセイインコ”にすがたが似ています
- 区内をすみずみまで見渡せる“生田緑地”に住んでいます。2羽の鳥がモチーフとなっている多摩区のシンボルマークにあこがれていて、いつの間にか同じ構図になるように並ぶことがある
- 「小さな声を、大切にするパートナー」
そっと耳をすませ、気持ちに寄り添い、Aがきいて、Bが伝える。2羽で支え合うすがたは、まさに“地ケア”！

【特徴】

- ▶むかし人間に本を読んでもらった経験から**知識が好き**になった
- ▶まわりの“**気づきの音**”に敏感に反応し解析するのが得意
- ▶羽のついた指棒は言葉にならない想いや小さな声を、みんなに伝えるための“**きずな棒**”。指すことで、気づき合い、支え合いがはじまる。指棒は自作です

【名前案】

- ▶おとまる
- ▶チケピー
- ▶みみるん

キャラクターA



キャラクターB



【特徴】

- ▶むかし人間にやさしく話しかけてもらった経験から人に**寄り添うことが好き**になった
- ▶人と寄り添ううちに“**優しく、丸みを**”を帯び、**聞き上手**になった
- ▶ナシのポシェットは優しくしてくれた**子どもからもらった宝物**

【名前案】

- ▶ここまる
- ▶ケアピー
- ▶こよりん

（案2：ミーアキャット設定・背景）

【設定】

■多摩区に住む人の“**互助**”※の気持ちが形になったので、**群れで協力して生活する生態をもつ“ミーアキャット”**にすがたが似ています

※地域包括ケアシステムにおける互助は、周りの人同士の助け合い、町内会・自治会の活動、ボランティア活動など“**みんなの支え合い**”を指します

■区内をすみずみまで見渡せる“生田緑地”に住んでいます。

■**「多摩区の“つながり”を見守るコンビ**」Aが気づいて Bがつなげる2体が助け合うすがたは まさに“地ケア”！

キャラクターA

【特徴】

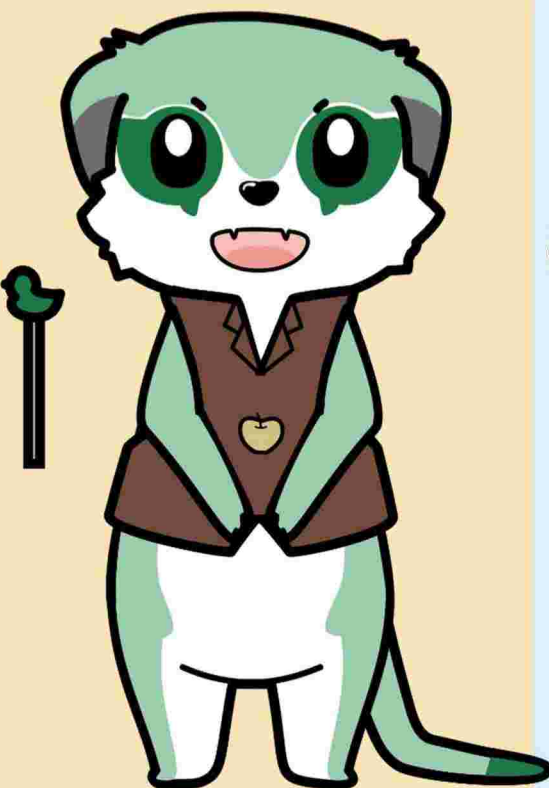
▶区内を見渡して“**つながり**”を探しているためスツと伸びた姿勢

▶多摩区の**シンボルマークにあこがれ**を持っている。鳥の指棒は自作

▶ちょっぴり人見知りだけど
多摩区の**地ケアの知識量はすごい！**

【名前案】

- ▶まもっち
- ▶みーまる
- ▶ミータマ



キャラクターB

【特徴】

▶**区民と目線を合わせやすい**ようしゃがんでいる

▶難しいことはよくわからないけれど
誰とでもすぐになかよくなれる

▶おっとりしているけれど**Aが気づかなかったこと**をひょいと言い当てる一面も？

【名前案】

- ▶つなっち
- ▶けあぽん
- ▶ツナタマ



（案3：妖精（区の木<梨・桃>）設定・背景）

【設定】

- 多摩区に**根付いた**暮らしの案内役。子育て、仕事、介護、病気、年を重ねること、暮らしの中で起こるさまざまな変化に対して、その人らしい生活が続けられるよう、支え合いのつながりをそっと案内する存在です。
- 果実は「**地域の恵みの結晶**」。地域包括ケアも、人・制度・自然の積み重ねから実と考えている。
- 「**いつもの生活から、支え合いを育てるパートナー**」

特別な場所ではなく、毎日の暮らしの中で、Aが読み取り、Bが寄り添う。積み重なって実る支え合いのすがたは、まさに“地ケア”！

キャラクターA

【特徴】

- ▶住民から相談を受けると必要な支援先をすぐ導き出すことができる**冷静で公平、説明上手**
- ▶大地の状況も**冷静に読み取る知性派**
- ▶かぶっている帽子は多摩区の木“**梨**”のモチーフ

【名前案】

- ▶タマナ
- ▶ニコラ
- ▶チケピー



キャラクターB

【特徴】

- ▶相手の話を最後までよく聞き、「**困りごと**」に**最初に気づく**
- ▶**聞き上手、人の気持ちや変化に敏感。**小さな変化も見逃さない
- ▶かぶっている帽子は多摩区の木“**桃**”のモチーフ

【名前案】

- ▶タマモ
- ▶ポカラ
- ▶ケアピー



【マスコットキャラクター決定方法】

 キャラクター案の投票

- 地域包括ケアシステム等を表現したキャラクター案を3案提示し、区民の皆さまにいずれか1案を選んで投票していただきます。

 名称案の投票

- あわせて、選択したキャラクター案に対して、区職員投票により選出した名称案(a・b・c)の中から、最もふさわしいと思うものを1つ選択していただきます。

 公募期間・方法

- 7月1日～10月17日の期間において、HP、区役所アトリウム、イベントなどにより公募を実施

【市政だより多摩区版特集記事の掲載】

「地域包括ケアシステム」に
関連する特集記事を掲載予定。

【掲載時期】

令和9年1月号

01 たま 区版 多摩区HP 区HPパナー広告等集中 [区版]は区の情報を中心に掲載しています。

2026(令和8)年1月1日発行
発行 多摩区役所 1月号
〒214-8570 多摩区登戸1775-1
総合案内 ☎044-935-3113

多摩区・3大学トピックス
専修大学は大学におけるSDGsに対する関心を高め、取り組みのほか、多摩区が実施するSDGs多摩区子ども研究発表会」の普及啓発を兼ね、地域と協力しSDGsの取り組みの普及啓発および達成を目標としています。

「幅る場所」から「過ごす場所」になる“まち”。
地域の活動を聞いて、見て、イメージして。
ここから始まる、あなたの“まち”時間。

令和7年度 地ケアフォーラム
地域活動マッチングイベント
地域つながり!
たまたまみつけ!

2月11日 水・祝
13時半～15時半(開場13時15分)
多摩市民館3階大会議室ほか

参加無料
申し込み不要
途中入退場自由

QRコード
多摩区役所地域ケア推進課
☎044-935-3241 044-935-3276

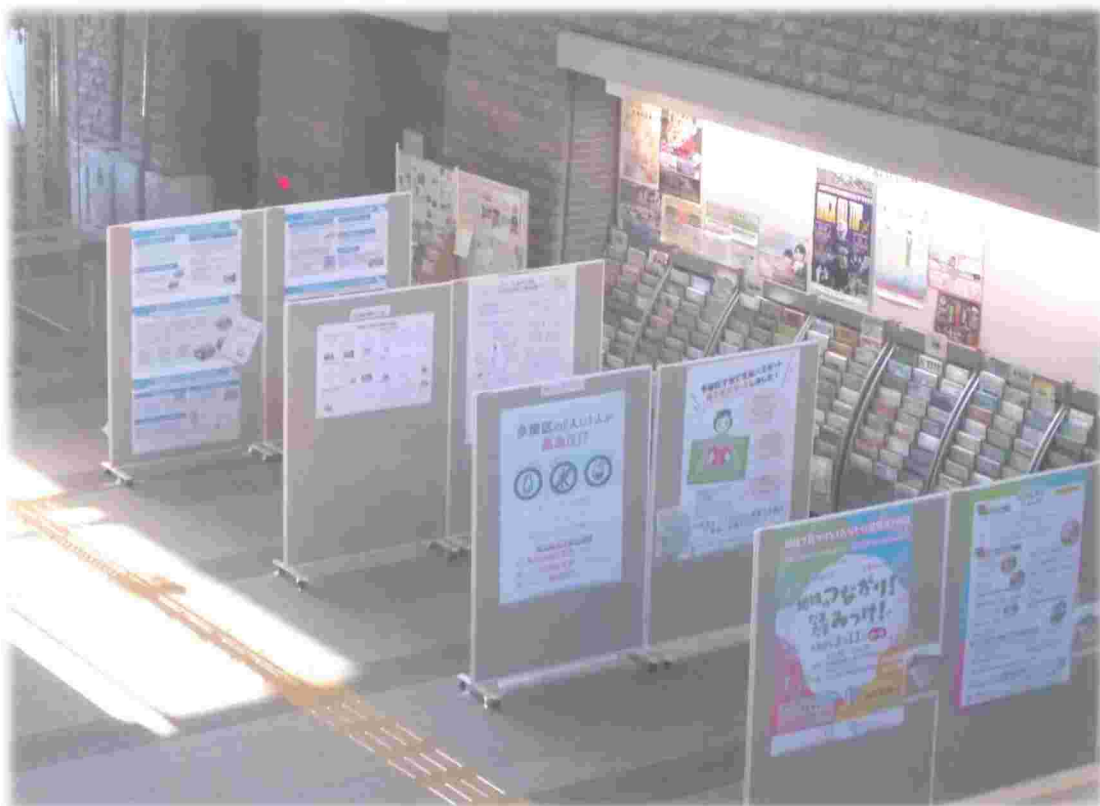
第1部 インタロゲーション・体験談トーク(13時半～14時)
地域活動の意義を語り合ったあと、過去の同イベントをきっかけに地域活動を始めたい先輩が登壇。活動との出会いから現在までの歩みを参加者の言葉で語ります。

第2部 活動団体ブース巡り(14時～15時半)
区内で活動する団体がブースを設け、取り組みを紹介し、参加団体のジャンル、参加団体などの詳細は区HPで。
・ウォーキング活動
・スポーツウェルネス炊事
・区内外で各種
・SDGsのまちづくり
・園芸活動
・ボランティア相談
・認知症カフェ
・地域カフェ
・教育
・多世代交流
・子ども食堂
・生涯学習情報紹介
・老人クラブ
・認知症対応活動
・見守り
・絵本の読み聞かせ
・障壁ゼロ型
・活動支援

別日で開催! 百聞は一見に如かず! ちょっと活動見学!
「少し興味が出たので雰囲気を見てみたい」「一人で見学は心配」という人向けにイベント以後、3月末までに、出展団体の活動の様子を見学できる機会を設けます。
※参加申し込みは2月11日のイベント内で受け付けます。見学可能な団体の詳細は会場です。

第2部で複数のブースを回った人にオリジナルマグカップをプレゼント!
限定100個
お申し込み要です。

【区役所アトリウムでのパネル展示の実施】



「地域包括ケアシステム」に関連するパネル展示を区役所アトリウムで実施予定

【実施時期】
令和8年10月



普及啓発の取組 ～介護予防広報誌「まっぷる多摩区版」の制作～

【介護予防広報誌「まっぷる多摩区版」】 令和8年4月～配布開始<5,000部制作>

地域包括支援センター等が総合相談支援業務において相談者に提案・紹介する広報誌を制作します。対象者は、主に虚弱、要支援程度の高齢者またはその家族。そのような対象者が、介護サービス等に頼らず、地域での活動・参加を継続できるような地域資源を掲載しています。



普及啓発の取組～地域の子育て情報・子育て支援活動等の発信～

【多摩区地域子育て情報BOOK】

妊娠期から就学前後までの、多摩区内の子ども・子育て支援に関するさまざまな情報を集め、テーマごとに紹介したもの。



【多摩区こども相談窓口案内】 ＜地域支援課＞



【たまっ子ノート】

多摩区の保育園・認定こども園で実施している、地域子育て支援の情報。

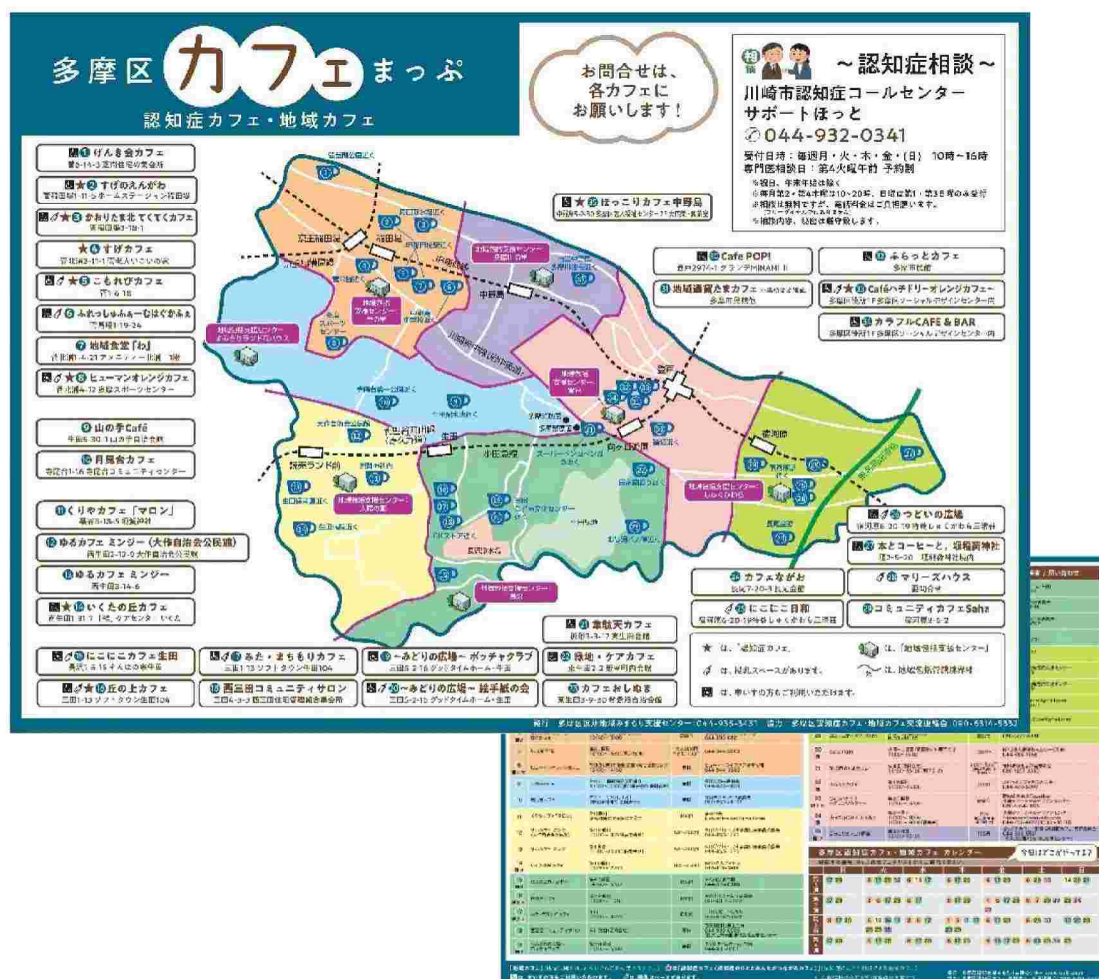
カレンダーは3エリア毎で毎月発行。

＜保育所等・地域連携担当＞

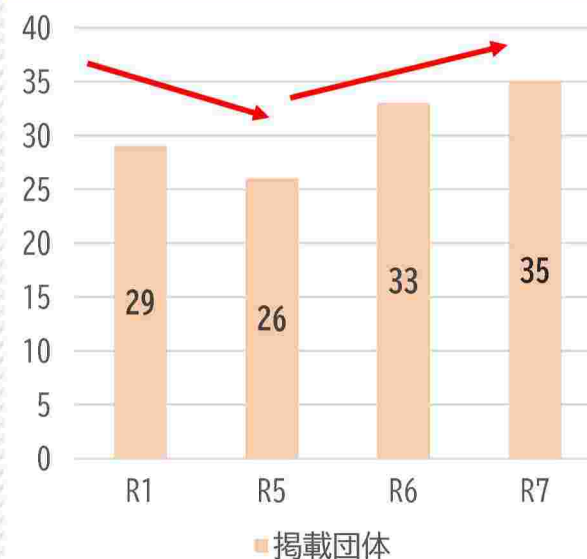


【多摩区認知症カフェ・地域カフェマップ】

地域に開かれ、どなたでも気軽に集える「地域カフェ」や認知症のことも相談できる「認知症カフェ」の情報を掲載。



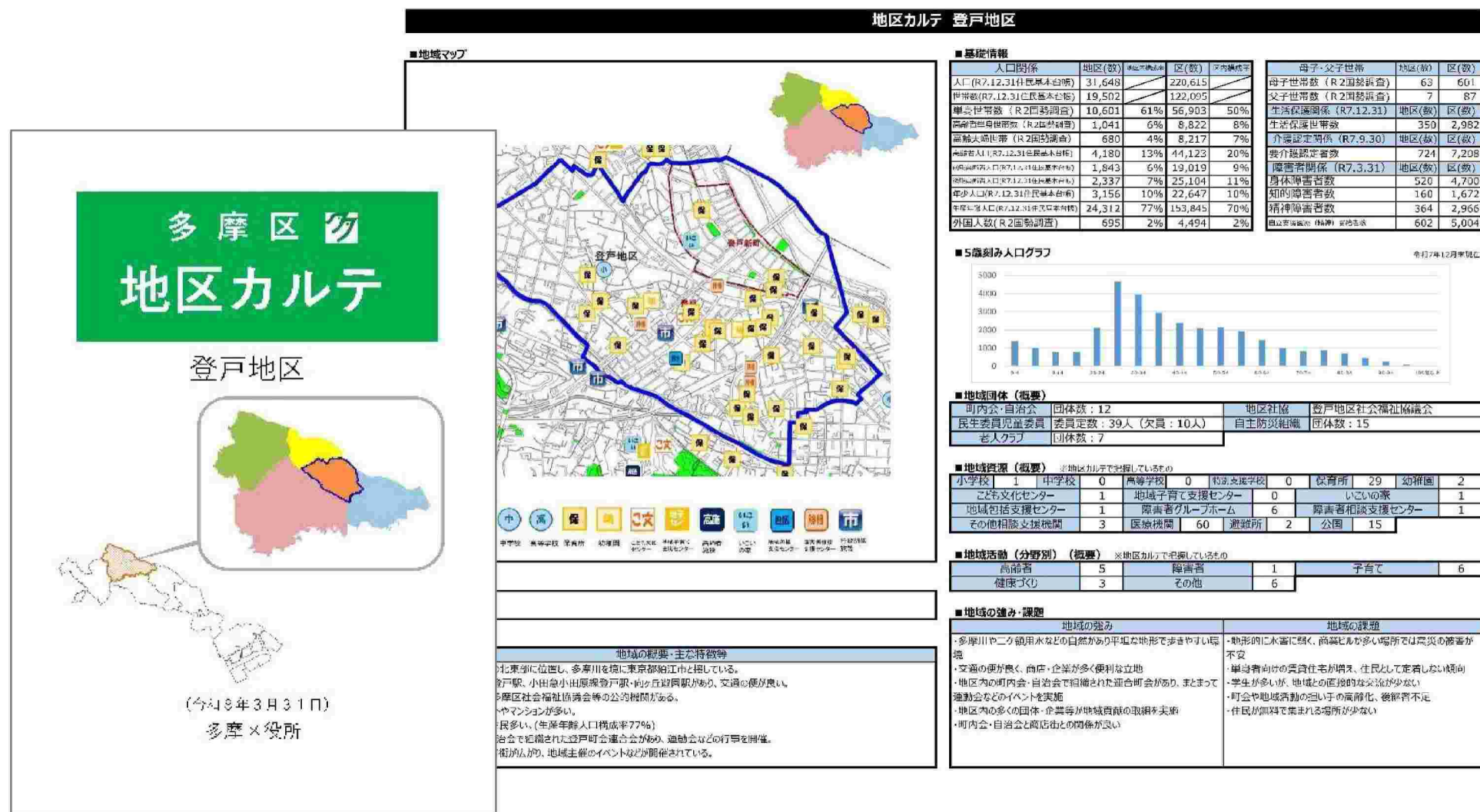
掲載団体の推移



※R2～R4はコロナ禍のため制作していない

【多摩区地区カルテ】

住民の皆様が地域のことを知り、今できることや、これからどのように暮らしていきたいかなどを考えるきっかけとして活用できる「地区カルテ」を作成。





2. 地域とのきっかけづくり

【地ケアフォーラム】地域活動マッチングイベント 地域のつながり！たまたまみつけ！

【開催目的】

地域で何か始めたいと考えているがまだできていない人を対象とし、講演会や地域活動団体による活動紹介を通じて、地域の「居場所」や「つながり」を見つけるきっかけをつくることを目的に「地域活動マッチングイベント 地域のつながり！たまたまみつけ！」を開催します。

【開催日】

令和9年2月11日（祝）PM<予定>

【開催場所】

多摩市民館

好きや得意を
活かしたい！

誰かの役に
立ちたい！

【参加者数（過去実績）】

令和7年度：157人
令和6年度：70人
令和5年度：103人
令和4年度：70人



地域で見つかる！あなたの居場所と仲間
地域で活動する人の話を聞いて、つながりを見つけてみませんか？

令和7年度地ケアフォーラム
地域活動マッチングイベント

**地域のつながり！
たまたまみつけ！**

令和8年2月11日 水・祝
13:30～15:30

場所：多摩市民館 3 階大会議室ほか
(多摩区登戸 1775-1)

対象：どなたでもご参加いただけます

参加無料
申込不要

別日で開催！
百聞は一見に如かず！
ちょこっと活動見学！

グッズプレゼント

本イベントに出展する地域活動団体のブースを複数回った人にオリジナルマグカップをプレゼント！(限定100個)

プログラム

第1部 インタロダクション、体験談トーク (13:30～14:00)
過去の開催で芽生えた新たな活動のストーリー、活動との出会いから、現在に至るまでを地域活動の先輩が話します。

第2部 ブースに分かれた活動紹介・質問タイム (14:00～15:30)
多摩区で活動している団体がブースを設け、取組を紹介し、あなたの世界がひろがる素敵な出会いが待っています。

主催・お問い合わせ
多摩区役所地域ケア推進課 TEL 044-935-3241 FAX 044-935-3276 Z1keasui@city.kawasaki.jp

地ケアフォーラム 企画

※昨年度チラシ

【地ケアフォーラム】地域活動マッチングイベント 地域のつながり！たまたまみつけ！

【昨年度のブース出展団体】

団体番号	団体目	団体番号	団体名
1	多摩区みんなの公園体操・いきいき体操	11	地域の寺子屋
2	多摩エコスタイルプロジェクト	12	多摩区老人クラブ連合会
3	のぼりと園芸部	13	NPO法人中野島総合型スポーツクラブビルネ
4	ふらっとカフェを広める会	14	多摩区ウォーキング推進委員会
5	多摩生涯学習相談ボランティアの会	15	多摩市民館障害者社会参加学習活動「青年教室」
6	(一社)多摩区ソーシャルデザインセンター	16	マチノパズル
7	川崎市多摩区社会福祉協議会(多摩区ボランティアセンター)	17	多摩区ロバさん倶楽部
8	多摩サポーターズ	18	りぷりんと・かわさき
9	多摩区民生委員児童委員協議会	19	多摩区認知症カフェ・地域カフェ交流連絡会
10	多摩区保護司会	-	-



【地ケアフォーラム】地域活動マッチングイベント 地域のつながり！たまたまみつけ！

【本イベントの契機とした「活動見学」及び「団体加入」の昨年度の実施結果】

団体番号	団体目	本イベントを契機とした 活動見学参加者数	本イベントを契機とした 団体加入数
1	多摩区みんなの公園体操・いきいき体操	実施せず	-
2	多摩エコスタイルプロジェクト	実施せず	0名
3	のぼりと園芸部	3名	2名
4	ふらっとカフェを広める会	1名	0名
5	多摩生涯学習相談ボランティアの会	実施せず	0名
6	(一社)多摩区ソーシャルデザインセンター	3名	0名
7	川崎市多摩区社会福祉協議会(多摩区ボランティアセンター)	実施せず	0名
8	多摩サポーターズ	実施せず	0名
9	多摩区民生委員児童委員協議会	実施せず	確認中
10	多摩区保護司会	実施せず	0名
11	地域の寺子屋	5名	確認中
12	多摩区老人クラブ連合会	3名	3名
13	NPO法人中野島総合型スポーツクラブビルネ	実施せず	2名
14	多摩区ウォーキング推進委員会	2名	1名
15	多摩市民館障害者社会参加学習活動「青年教室」	実施せず	0名
16	マチノパズル	実施せず	0名
17	多摩区ロバさん倶楽部	実施せず	0名
18	りぷりんと・かわさき	実施せず	0名
19	多摩区認知症カフェ・地域カフェ交流連絡会	実施せず	0名

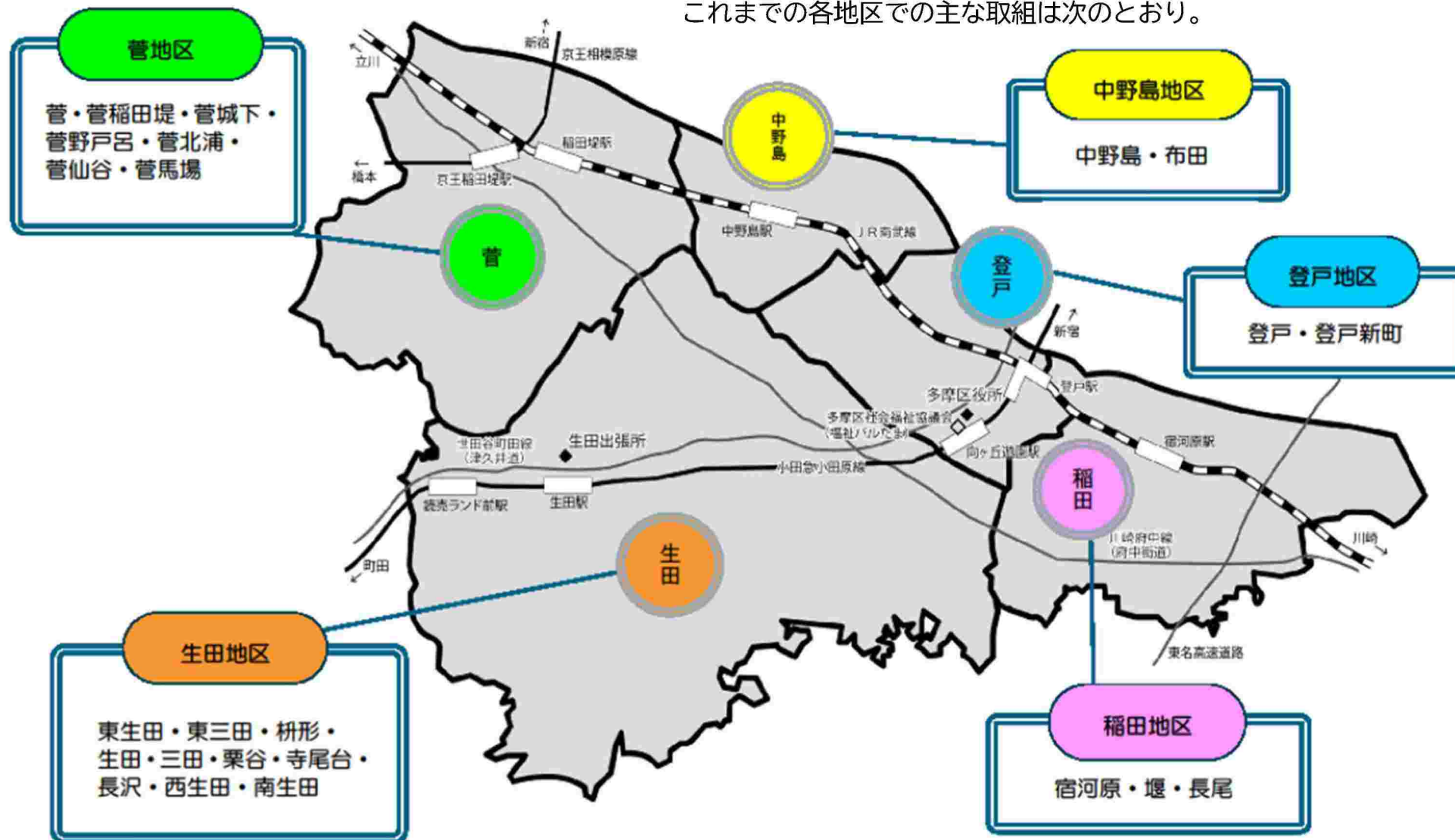


3. 地域づくり

多摩区における地域づくりの取組

多摩区では地区社会福祉協議会の区割りを参考に
に区内を5地区に分け、それぞれの地域特性に応
じた地域づくりに取り組んでいる。

これまでの各地区での主な取組は次のとおり。



【のぼりとミーティング】

地域活動団体へヒアリングを実施したところ、「登戸地区には様々な団体があるが、横の繋がりはなく、お互いの活動を詳しく知らない」といった意見が多くあったため、団体同士のつながりづくりを目的とした交流会「のぼりとミーティング」を平成30年度に立ち上げた。

地域の団体や住人による地域づくりを活性化させるため、今後も定期的に行っていく。

【主な取組】

◆ のぼりとミーティングの開催（H30～）

- ・ 地域の活動を知り、自身の活動のヒントにすることをテーマに交流会を実施（H30, 31）
- ・ 「区画整理」をテーマとした講演・グループワークを実施（R4）
- ・ 新規参加団体（11団体）の紹介、「地ヶ算」を軸に置いた活動アイデアの意見交換（R6）
- ・ 『強み×強み』『強み×困り事』をテーマにした「地ヶ算」アイデアの意見交換（R7）

◆ 活動紹介ハンドブック等の作成・更新（R2～）

- ・ 団体にアンケートを実施し、活動紹介ハンドブックを作成（R2）
- ・ 登戸地区のWebページを作成（R5）

【令和8年度の取組】

- ・ のぼりとミーティングの定期開催（7/29、2月）
- ・ 過去に生まれた地ヶ算アイデアの実現に向けた団体へのフォロー
- ・ メーリングリストを活用し依頼を受けた地域イベントや活動見学会の案内を周知



【地ケアつながりプロジェクト～TeamSUGE～】

「住民関係の希薄化」や「子育てへの不安」「情報格差」など、地区と地区内の活動団体が抱える「困り事・心配事」を共有し、区内の様々な地域資源をかけ合わせ、地域の実情に応じた取組を進めていくため、令和4年度からプロジェクトを実施。

【主な取組】

- ・地区内の団体・関係者と、現地ツアーや会議を通じて地域の困り事や心配事を共有するとともに、地域資源への理解を深め、それらを掛け合わせたアイデア（地ケ算）を創出（R4）。
- ・創出した地ケ算のうち実行可能な取組を推進し、10の地ケ算を実現。取組を通じた課題解決に向けた交流会を実施するとともに、より住民主体の運営推進のための「企画部会」を設立（R5～R6）。
- ・交流会・企画部会の定期開催、活動見学会の実施のほか、地域資源情報を集約・共有する目的で「すげタウンブック」を作成することにより、地域資源の共有を促進。また、プロジェクトメンバー有志の協力により、新たな多世代交流の場「すげのえんがわ」を実現（R7）。

【令和8年度の取組】

- ・交流会・企画部会、活動見学会の開催等により、団体間の相互理解・連携を促進。
- ・「すげタウンブック」の掲載内容の充実と活用の促進を進める。
- ・「すげのえんがわ」は関係機関と連携しつつ引き続き運営を支援する。



【中野島多世代つながり愛プロジェクト協議会】

平成28年度から東京都健康長寿医療センター研究所と多摩区役所が協定を結び（平成30年協定終了）、地域の皆様と一緒に「中野島多世代つながり愛プロジェクト」協議会を開催。

「子どもの健やかな成長の喜びを全ての世代が共有できるまち」を目標に、地域の皆様方と本協議会を構成しあいさつ運動や多世代の交流の場づくり等の活動を通じて、中野島への愛着を育み、持続可能な地域づくりを進めている。



【主な取組】

◆中野島多世代つながり愛プロジェクト協議会の開催（H28～）

- ・多世代で支え合うまちづくりを目指した協議会の運営、あいさつ運動、まちプロ養成講座、中野島ファミリーカフェ、ポールdeウォーク講座など複合的な働きかけを実施（H28～H30）
- ・R4年度に引き続き、「プロジェクトの周知不足」の改善に向けた取組を実施し、協議会を2回開催。プロジェクトの象徴である梨のキャラクターの命名を行い、なかよしなっしーず決定（R5）
- ・「防犯への取り組み」と「地域との交流が少ない」の改善に向け、協議会を2回開催し、地ヶ算のタネの創出及び地ヶ算を実施。協議会の更なる周知に向け取組として、なし部を開催（R6）
- ・協議会を2回開催し、防災へのニーズが高いことを把握した。第2回では防災講話と意見交換を実施し、次年度の取組の検討材料とした。また、なし部や活動見学会を通じて、周知と団体間の交流を促進した。（R7）

【令和8年度の取組】

- ・中野島多世代つながり愛プロジェクト協議会を2回開催
- ・区総合防災訓練との連携実施
- ・活動見学会及び地ヶ算の継続実施



【主な取組】

- ・長尾地区での取組（H29年度～）
 - 「カフェながお」活動支援（R1～）
 - ⇒ 直近ではR5に保健師による講話を実施
- ・宿河原地区での取組（R3年度～）
 - 「緑化センターまつり」への出展（R5.11.12、R6.11.10）
 - ⇒ 地域団体との関係づくりや事業の普及啓発のため、地ケアに関するパネル展示や血圧測定を実施
- ・介護予防・健康づくり等を通じた地域づくり
 - しゅくがわら地域包括支援センターと共催で介護予防教室を開催
 - ⇒ R6.11.28及びR6.12.11に医師による講話を実施
- ・子育てママの防災講座の開催（R6年度）
 - 防災意識の高まりを受けて子育て世代向けに講座を開催（R6.9.26）
 - ⇒ 災害時の避難と備え、子どもの食事に関する講話など
- ・防災を切り口とした取組（R7年度）
 - 「ドキドキ★防災探検隊」を実施
 - ⇒ 小学生を対象に、防災体験を通じて地域コミュニティや助け合いについて学ぶ機会を創出
 - 「こどもといっしょに！防災ピクニック」を実施
 - ⇒ 子育て世代を対象に、防災講話や体験を通じて防災意識の向上と交流の機会を創出



「これからの長尾を語ろうみんなの集い」



「緑化センターまつり」の様子

【令和8年度の取組】

- ・ドキドキ★防災探検隊の継続実施
- ・団体交流会の開催
 - ⇒ 開催に向け地域づくりの核となる個人・団体へのヒアリングを実施
- ・地域課題への取組

【主な取組】

- ・ **かりがね台モデル事業（H28年度）**
かりがね台自治会(西生田5丁目)をモデル地区として選定し、様々な企画を検討。井戸端の会発足など。
- ・ **生田ご近所パワーアップ集会（H30年度～R2年度）**
民児協区域単位で3大学と連携し、身近な地域の活動や課題について考える住民向けの集会を開催。（R2はコロナのため中止⇒リーフレット作成）
- ・ **小学生向け地ケアに関する授業の実施（R5年度）**
地ケアについて理解を深めることを目的に、生田小学校3年生を対象に授業を実施。
- ・ **地域活動団体の工夫などをまとめた事例集の作成（R7年度～3か年計画）**
団体や個人に取材し、取組の工夫などを事例としてまとめる
⇒事例は共通のフォーマットに取りまとめて、他団体への横展開に活用
- ・ **取材先の団体などを招集しての事例発表に向けた検討（R7年度～3か年計画）**
事例発表を契機に団体相互の横のつながりづくりを目指し、時期や内容を検討

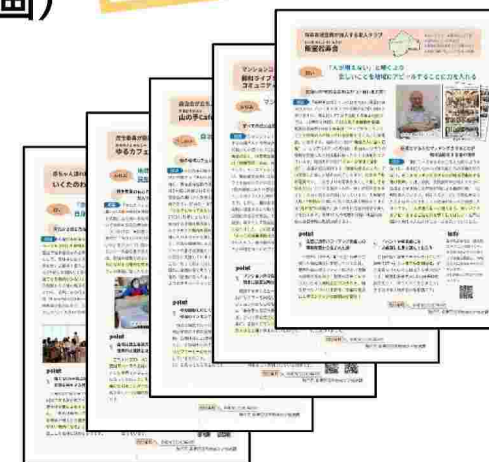
【令和8年度の取組】

～3か年計画の継続検討～

- ・ 事例集の作成
- ・ 事例発表の開催
- ・ 小規模プラットフォームの形成に向けた検討



事業内のアイデアから坂道に設置されたイス





4. 新しい認知症観に基づく取組

【新しい認知症観とは？】

認知症になると何もできなくなるという考えではなく、認知症になってもできること・やりたいことがあり、地域で仲間等とともに、希望を持って自分らしく暮らすことができるという考え方。

◆何もできなくなる、といったこれまでの考え方を、新しい認知症観に変えることが、すべての取組の出発点です。

【認知症サポーター養成講座、認知症講演会の実施】

■実施計画（目標）

学校向け 小学校…………… 14校
中学校…………… 7校
住民向け 区役所主催…………… 5回
※依頼時、随時開催



《令和7年度 中学生対象の認知症サポーター養成講座開催》

【小学校内で認知症関連の展示を予定】

認知症サポーター養成講座受講後の児童に対するフォローアップやその他の児童に対しての普及啓発を目的として、講座の感想や認知症関連の絵本、ロバ隊長などの展示を予定



「ロバ隊長」は認知症理解と安心のシンボルです。もし、このマスコットが目にとまれば、「道を教えて」と言えるかもしれません。

「安心して認知症になれるまち」が目標です。

【多摩区で新たなチームオレンジの誕生に向けて】

チームオレンジとは、認知症の方とご家族が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、チームで支え合う取り組みです。

『認知症になってもできることはたくさんある』『地域で役割を持って生きていける』という理解を広げ、地域の人が緩やかにつながっています。



《活動の様子》

令和7年12月、多摩区で第1号のチームオレンジ『ロバさん倶楽部』が誕生しました。

一緒になってロバ隊長のストラップやぬいぐるみを手作りし、地域に広めています。

“好きな手仕事”が皆をつなぐ共通点。「好きなこと・できること」が重なり合った素敵なチームオレンジです。

ストラップ2000個を作成し、配布しました。



《ロバさんの手作りストラップ》



5. 障害に関する理解と関心の醸成

障害に関する理解と関心の醸成

【区役所アトリウム等での「パサージュ・たま」の開催（月2回 ※8月除く）】

障害に関する理解と関心を深めるため、総合庁舎1階のアトリウムを利用し、月2回（8月を除く）、区内の障害者団体や生活・就労支援を行っている障害者施設、地域活動支援センター等の活動紹介や作品展示、また、障害に関する相談先の紹介も行っている。



特別
開催

《登戸駅南北自由通路におけるパサージュ・たまの開催》
更なる普及啓発に向け、区役所アトリウムより目にとまりやすい登戸駅南北自由通路にて、10月と11月に各1回ずつ特別開催予定。



広報誌の改訂
[令和9年2月発行予定]



【多摩SDCにおける区内障害者団体等の作品の常設展示及び販売】

作品をより多くの方に見ていただくため、令和3年12月から、多摩区ソーシャルデザインセンター内で「パサージュ・たま」出展団体の作品を常設展示・販売している。

時 間：平日午前10時～午後4時（年末年始を除く）

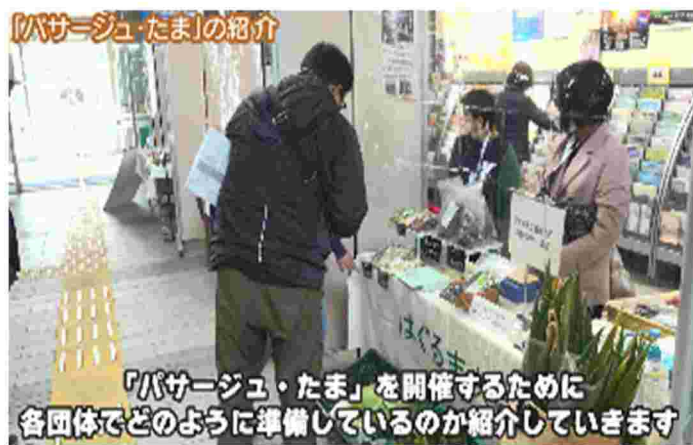
場 所：多摩区役所1階 多摩区ソーシャルデザインセンター

展示・販売：焼き菓子、ジャム、アクセサリー、キーホルダー、コースター、ハガキ、小物入れ、染物製品など



【パサージュ・たま事業及び出展団体の活動紹介映像を各所での放映】

「パサージュ・たま」や参加障害者施設等の活動紹介映像を制作しました。各施設等が「パサージュ・たま」に向けて、どのような準備を進めているか、また、日頃の活動の様子を知ることができる。



映像はこちらから





6. 子ども・子育て関連事業

【こどもの外遊び事業】

「外遊び」を通じて子どもの生きる力を育み、創造力を培うと共に、地域での人のつながりづくりを促す「こどもの外遊び交流」を推進することを目的に、外遊びイベントを開催（年3回）。



【子育て支援者養成事業】

子育て支援に携わってみたいという方向けに「きっかけ」を提供する「わたしにもできる子育て支援 入門講演会」を開催。



【子育て支援パスポート事業】

多摩区商店街連合会と連携し、子育て家庭の支援等を目的に子育て支援パスポートを発行。

令和7年9月から電子化スタート

多摩区で子育て えがおで応援

多摩区子育て支援パスポート 子育て応援店

子育て応援店については、商店街別の一覧表を参照してください。

多摩区子育て支援パスポート

多摩区内全世帯の世帯対象

多摩区子育て支援パスポート事業は、妊娠中から概ね18歳までの子どもを持つ家庭を対象に、子育て中の家庭を応援するためにしています。

多摩区のお母さんやお父さんに、ゆとりを持って、子どもを育ててほしいという思いから、区内の商店街が力を合わせ、子育て応援店が知恵を絞ったサービスを提供することで、地域の子育てを応援します。

あわせて、区民と商店街とのあたたかな交流の輪を広げることも目的としています。

多摩区商店街連合会
多摩区役所地域ケア推進課 ☎ 044-935-3241
2025年9月作成



7. 川崎市地域見守りネットワーク事業

7 川崎市地域見守りネットワーク事業

【川崎市地域見守りネットワーク事業】

新聞販売店や生協などの民間事業者などと連携し、日常の業務の中で住民の異変に気づいた場合に、市へ連絡し、必要な支援を行うなど、地域社会全体で見守る体制を確保し、住み慣れた地域で安心して生活できるよう支援することを目的とした事業。

《通報件数》

令和7年1月～12月 7件

